

平成29年度「全国学力・学習状況調査」の結果 －分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について－

区 名 東淀川区
学 校 名 大阪市立井高野小学校
学校長名 二井 敦子

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成29年4月18日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただきため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
- (2) 質問紙調査
 - ・児童に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・井高野小学校では、第6学年 63名

平成29年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

国語Aは、全国平均より6.9ポイント、大阪市平均より3.1ポイント低い。国語Bは、全国平均より11.1ポイント、大阪市平均より6.6ポイント低い。算数Aは、全国平均より4.8ポイント、大阪市平均より1.2ポイント低い。算数Bは、全国平均より2.4ポイント低いが、大阪市平均より1.5ポイント高い。今年度は、国語ABとともに、全国平均正答率が昨年度に比べ差が縮まった。算数Aも、全国平均正答率が昨年度に比べ差が縮まり、さらに算数Bは、全国平均正答率が昨年度に比べ少し上回った。平均無解答率に関して、国語Aが1.4%で全国平均より6.9%低い。国語Bは4.9%、算数Aは1.0%、算数Bが6.7%で、この3つに関しては全国平均より0.3～0.6%高いところで収まっている。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕教科の評価観点からみて、どの観点も全国平均に比べ低いが、「書く能力」や「読む能力」においては全国平均との差は6～10%ぐらいに収まっている。しかし、「話す・聞く能力」は約11～16%の差がある。基本的な漢字の読み・書きや、文章読んだり、読み取ったりする問題は、比較的できているものの、読解力や結果をもとにして内容を聞き取ったり、話したりする力が十分に育っていない。今後の学習の課題として、「基本的事項の定着力を高める」ための工夫と、「文章を正しく読み取って、内容を深めたり、表現したりする力」を伸ばすために、「言語力や論理的思考の育成」に努める。〔算数〕基本事項である「数学的な知識・理解」については、全国平均との差5～7%ぐらいに収まっている。ただ、「数量関係」に関する問題は比較的理解ができている児童が多い。また、活用的な問題、たとえば、「平均を求める問題」や「きまりを考える問題」などの正答率が低い今後も、ICTを活用した授業により、ひとりひとりの操作・体験活動を通じて「数学的な思考や説明する力の育成」を目指す。

質問紙調査より

やはり、テレビやテレビゲームに費やす時間が比較的多い。言い換えると、家庭での学習時間がやや少ないと言える。一方、「将来の夢や目標を持っている」児童が88%あり、望ましい傾向である。また、「自分にはよいところがある」と回答する児童が75%と全国平均に近づき、子どもの自尊感情の高まりが見られる。学校の特色として、「たてわり班活動」に取り組んでいる。その成果が徐々に表れ、行事を成功させることで「達成感」「成就感」を味わう子どもの割合が高くなってきた。また、昨年度から図書室の整備に力を入れたこともあり、昨年度は「読書が好き」と回答する子どもが増えたが、今年度は少し減った。(68%) 今後も、図書活動の充実を図り、読書を通じての「言語力の育成」に成果を上げていきたい。

今後の取組

○ 国語においては、今後も「漢字の定着」「読み聞かせ」「音読指導」「表現活動」等の充実を図ることで、「読む」「聞く」「話す」「書く」力の育成を目指す。○ 読み聞かせや図書館開放の工夫など図書活動の充実を図り、子どもの読書の推進と言語力の育成を目指す。○ 算数においては、ティームティーチング(T.T)や習熟度別少人数学習など、個に応じた指導の系統立てた工夫をし、基礎・基本の定着を図る。さらに、発展的・活用的なプリント学習に取り組ませることで、子どもの「言語力や論理的思考の育成」を図る。○ 放課後の「ステップアップ学習」に加え、夏休み中に「自主学習会」を実施した。さらに、学校力アップ事業として「週末スタディ」(週末の課題プリント)を取り入れ、補充学習の推進と家庭学習のさらなる充実を図る。○ 各教科において、ICTの活用、体験活動、外部講師による授業などを充実させることで「休憩レポートを取り入れた「深い学習」を目標とする。

【 全体の概要 】

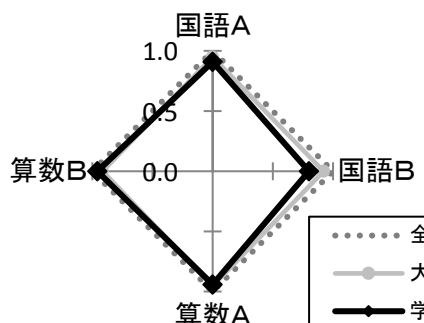
平均正答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	68	46	74	44
大阪市	71	53	75	42
全国	74.8	57.5	78.6	45.9

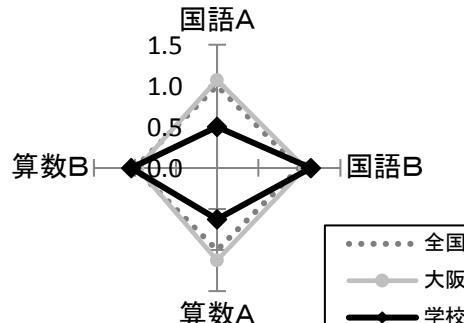
平均無解答率 (%)

	国語A	国語B	算数A	算数B
学校	1.4	4.9	1.0	6.7
大阪市	3.0	4.6	1.8	6.2
全国	2.8	4.3	1.6	6.4

平均正答率(対全国比)



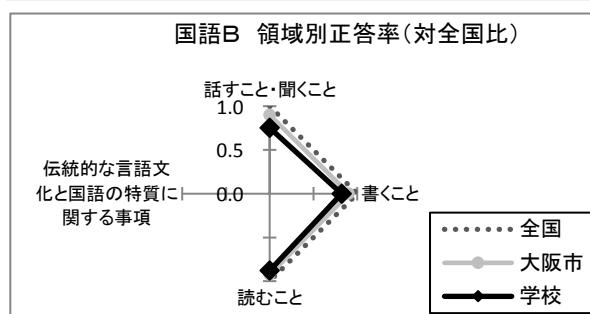
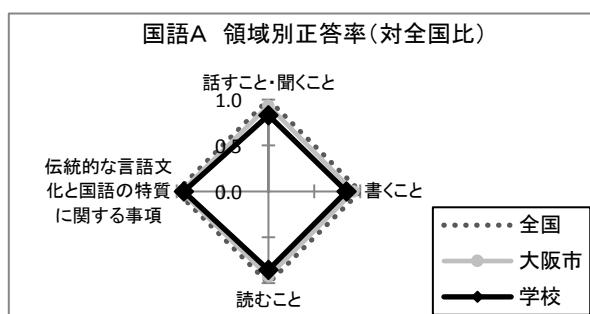
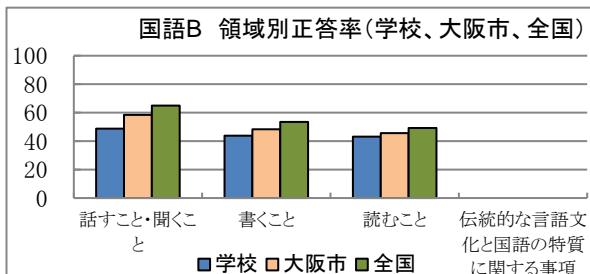
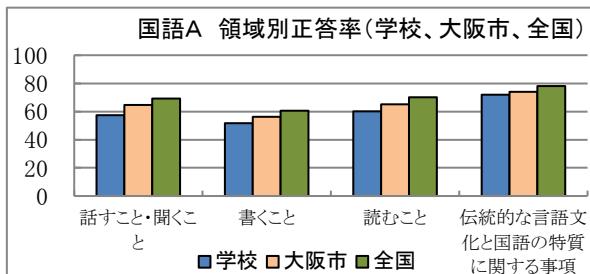
平均無解答率(対全国比)



【 国語 】

A 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	1	57.4	64.6	69.2
	書くこと	2	51.6	56.2	60.6
	読むこと	3	60.1	65.2	70.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	11	72.0	74.0	78.0

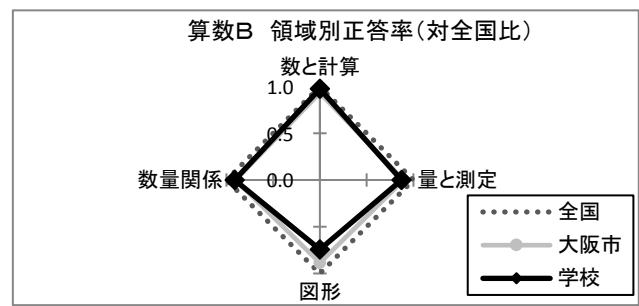
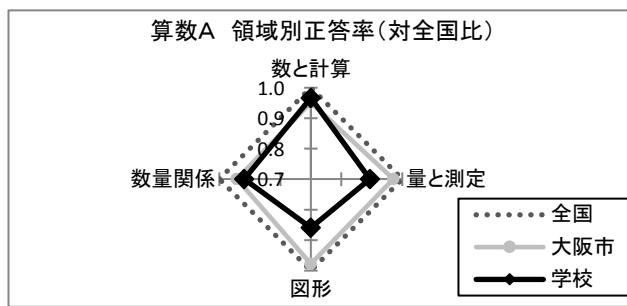
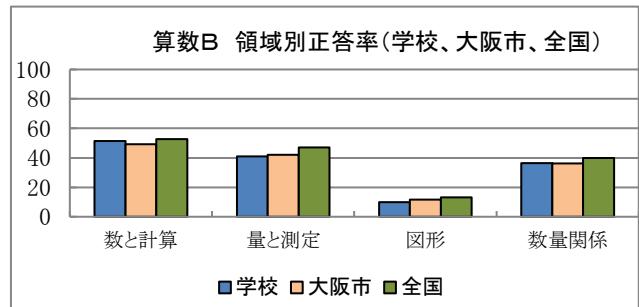
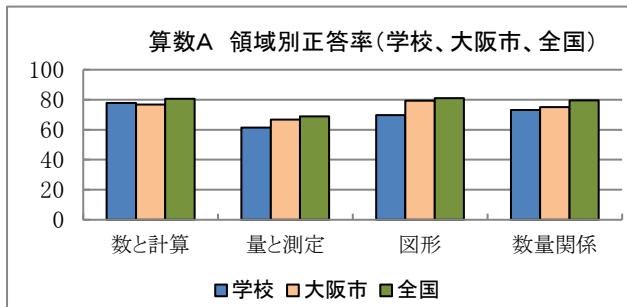
B 問題		平均正答率(%)			
		学校	大阪市	全国	
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	3	48.8	58.4	64.9
	書くこと	5	43.9	48.3	53.4
	読むこと	3	43.2	45.5	49.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	—	—	—	—



【 算 数 】

A 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	8	77.9	76.7
	量と測定	2	61.5	66.8
	図形	2	69.7	79.3
	数量関係	5	73.1	75.0

B 問 題		平均正答率(%)		
		学校	大阪市	全国
学習指導要領の領域等	数と計算	5	51.5	49.2
	量と測定	2	41.0	42.0
	図形	1	9.8	11.7
	数量関係	8	36.5	36.1



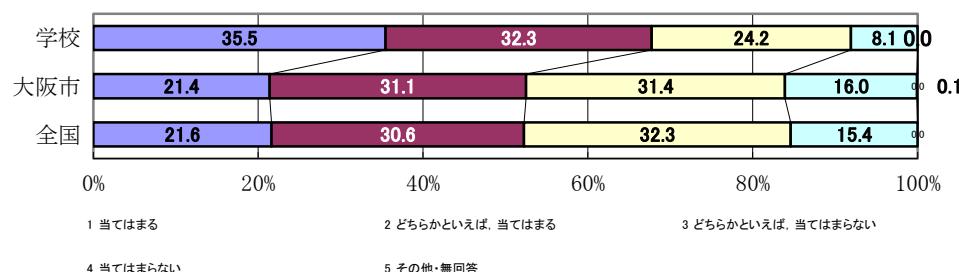
児童質問紙より

■1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 □10

質問番号
質問事項

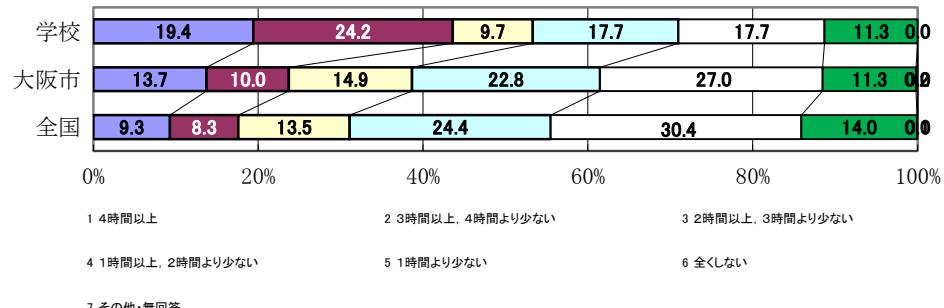
7

友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか



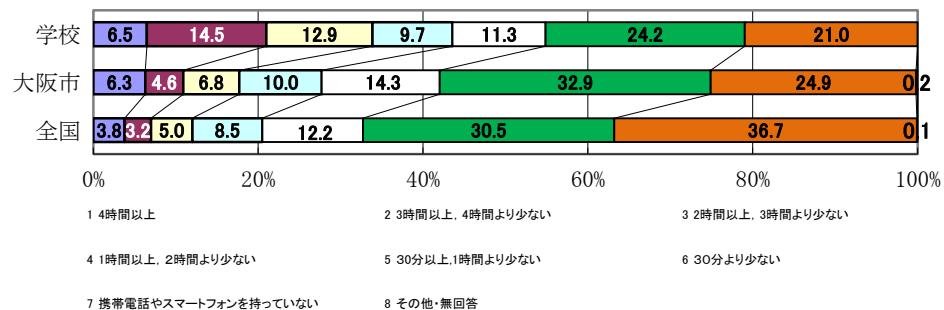
13

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, テレビゲーム(コンピュータゲーム, 携帯式のゲーム, 携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む)をしますか



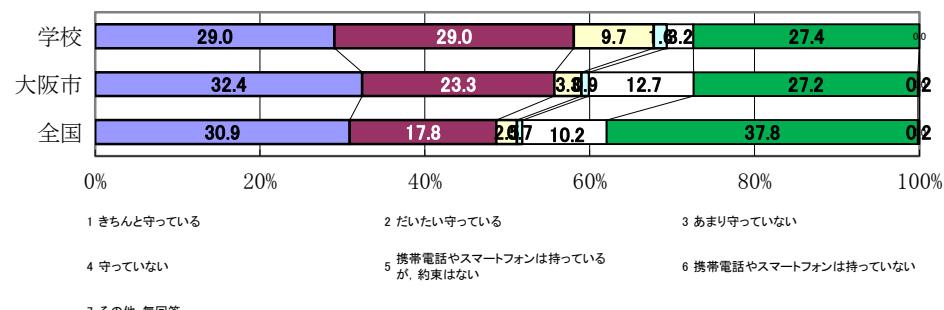
14

普段(月曜日から金曜日), 1日当たりどれくらいの時間, 携帯電話やスマートフォンで通話やメール, インターネットをしますか(携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く)



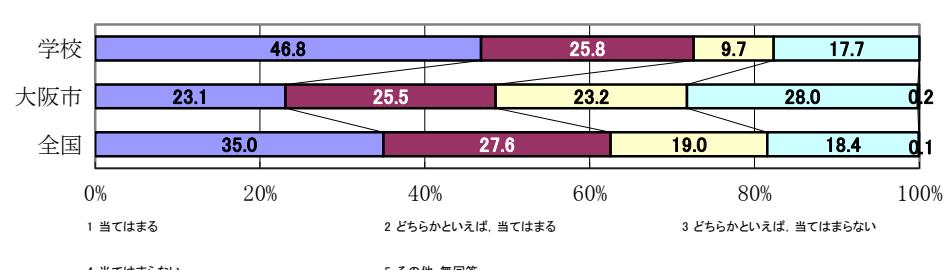
25

携帯電話やスマートフォンの使い方について, 家の人と約束したことを守っていますか



40

今住んでいる地域の行事に参加していますか



学校質問紙より

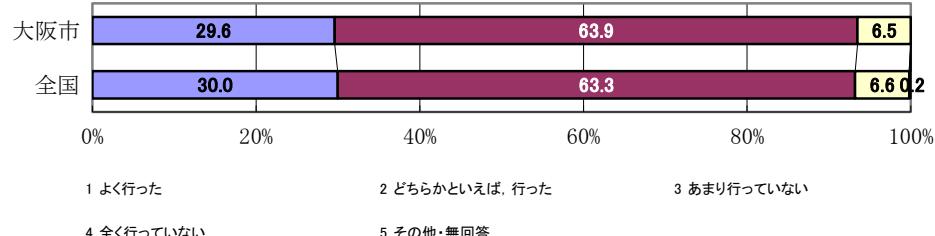
□1 ■2 □3 □4 □5 ■6 ■7 ■8 ■9 ■10

質問番号
質問事項

35

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、各教科等の指導のねらいを明確にした上で、言語活動を適切に位置付けましたか

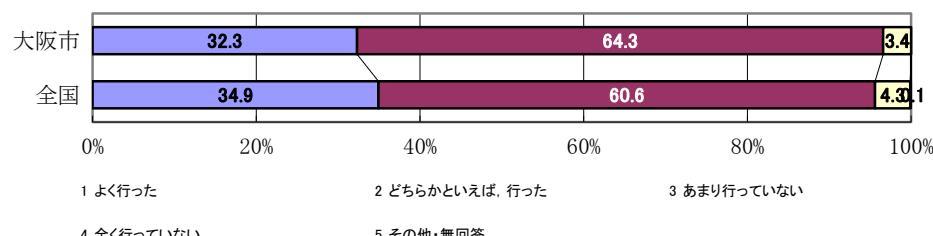
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



36

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか

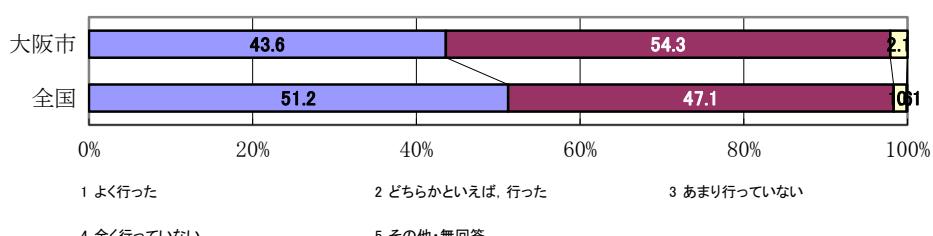
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



37

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、発言や活動の時間を確保して授業を進めましたか

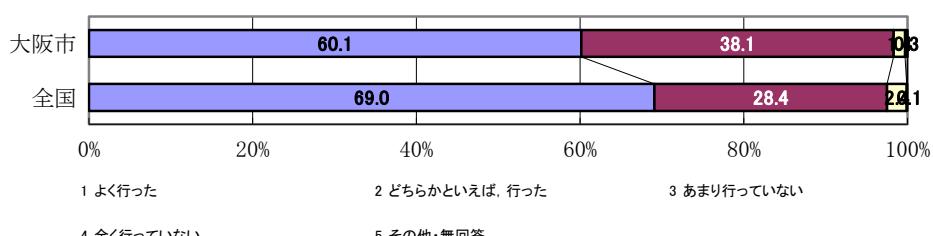
学校 「どちらかといえば、行った」を選択



38

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、授業で扱うノートに、学習の目標(めあて・ねらい)とまとめを書くように指導しましたか

学校 「よく行った」を選択



39

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級やグループで話し合う活動を授業などで行いましたか

学校 「どちらかといえば、行った」を選択

